

O-Forum 2019 Spring 報告

記録：木村佳司（公益社団法人日本オリエンテーリング協会理事）

2019年4月13日 15:00-17:00

日光公民館 2F 視聴覚室（栃木県日光市）

主催：公益社団法人日本オリエンテーリング協会

参加者：約 20 名（参加費無料）

内容

15:00-15:05	オープニング
15:05-15:40	第 29 回ユニバーシアド冬季大会報告
15:40-15:45	休憩
15:45-16:00	関西ワールドマスターズ 2021 説明
16:00-16:20	JOA の最近の動き概要説明
16:20-17:00	意見交換
17:00	終了

アンケート結果

第 29 回ユニバーシアド冬季大会報告	よかった 100%	まあまあ 0%	つまらなかった 0%
関西ワールドマスターズ 2021 説明	よかった 80%	まあまあ 20%	つまらなかった 0%
JOA の最近の動き概要説明	よかった 80%	まあまあ 20%	つまらなかった 0%
意見交換	よかった 100%	まあまあ 0%	つまらなかった 0%

意見交換セッションの記録

Q 3年前に検討されていた公認クラブ制度は怎么样了。

JOA 申し訳ない。現在検討が止まっている。

クラブは現在日本のオリエンテーリングでは、選手・愛好家の帰属意識はクラブが中心となっていて、オリエンテーリングを動かしている大きな力となっているのは間違いない。クラブにおける活動が日本のオリエンテーリングの発展に寄与する。公認大会の開催については、公認大会 WG などにも共有してゆきたい。

意見 クラブ活性化の提案をしたい。

オリエンテーリングクラブには能力ある人材が多い。オリエンテーリング以外のアウトドアスポーツにその能力を提供することで、多くの社会的ニーズに応えることができる。この分野は競技人口もオリエンテーリングより遥かに大きい。

社会的ニーズに応えることで得られる原資をもとに、オリエンテーリング愛好家の若者に活動の場を与えることでクラブが活性化していった経験がある。

参加者が主催者にもなる現在オリエンテーリングの素晴らしい文化をもっと利用し、発信してゆこう。

JOA （補足）ロゲイニングやトレランは確かに大きな対象層であるが、イベント開催は小さな組織や個人では難しい。一方、アウトドア活動者にナビゲーションスキルを教えることは、現状ニーズも大きく、オリエンテーリングには長年の蓄積とアドバンテージがある。JOA ではナビゲーションスキル指導の資格を 2018 年度にスタートさせた。活用いただきたい。

Q. 事業を整理する必要があるのではないか。

多くの選手権、ジュニア大会が開催されようとしているが、人的な限界があるのではないか。

JOA 確かに総合的に整理する必要がある。毎年あたりまえのように行われている行事・大会も、もう一度全体視点から見直

すことが必要かもしれない。お金の点でいうと、JOA が執行できる予算規模はここ数年変化がない。その中で事業が増えても、できることに自ずと限界がある。

Q. 大学 OB とクラブのマッチングがうまくいっていない。

意欲のある大学 OB に対して、クラブがうまくアプローチできていない。このあたり何とかできないか。

JOA クラブ側がそのような発想を持っていないことも課題であると思う。JOA としてはそのようなマッチングの場作りをすることはできる。

JOA 予算確保の話を説明させていただく。

現在、JOA では予算確保に向けていろいろ活動している。ただし、活動できる理事にも限界があることから、今の段階にとどまっている。現在はオフィシャルサプライヤーの獲得に力を入れている状態である。このあとは寄附制度の浸透をしてゆきたい。世間的には遺産寄附という方法も増えているが、そうした取り組みはまだあまり行っていない。

アンケート意見欄

O-Forum に対して

進め方が良かったのか、良い意見が多く出たと思う。

JOA に対して

参加者目線が欠如している部分がありそう。

・全日本スプリント運営

・規則が更新されても、更新項目や、その意図に関するアナウンスがない。競技者登録者全員に対してアンケートを実施してもよいと思います。

パーマントコースをトレイルランナーにお勧めしてください。（トレラン用の地図として有効）

資格者（登録競技者）のメリットを。

日本のオリエンテーリングに対して

SNS の発信力が弱い。（トレイルランニングと比べて）

以上